

生徒指導通信

令和元年度 2月号

青森県立大間高等学校 生徒指導部

令和2年 2月 25日(火) 発行

Vol. 9

部員：中野渡・藤本・沢田・藤原

卒業式に向けて・・・

二月に入り卒業式指導も始まって、いよいよ卒業式か・・・と緊張感も出てきました。私は、この時期に思い出すことがあります。高校生のころに、部活動のチームメイトと校内で練習中、テレビの取材を受けました。そして後日、青森県内で放送されているニュース番組に、わたしたちがアカペラで歌った「蛍の光」が流れ、かなり恥ずかしい思いをした記憶があります(笑) 毎年この時期になると思い出されますが、今となっては良い思い出です。さて、みなさんは、卒業式の式歌でもある、「蛍の光」の歌詞の意味を考えたことはあるでしょうか。

蛍の光 窓の雪 書読む月日 重ねつつ

(蛍の淡い光や 月光の雪明かりを窓から取り入れ 書物を読む日々を重ねていると)

何時しか年も すぎの戸を 開けてぞ今朝は 別れ行く

(いつの間にか年月は過ぎ去っていき 今朝は杉の戸を開け 級友と別れていく)

止まるも行くも 限りとして 互に思ふ 千万の

(故郷に残る者も 去り行く者も 今日限りなので 互いに思い合う無数の想いを)

心の端を 一言に 幸くと許り 歌ふなり

(たった一言「幸あれ(どうかご無事で)」と歌うのだ)

歌詞とその意味を改めて読んでみると、送る側、送られる側どちらの想いも歌っていて、切ないけれど、どこか希望を感じる歌詞だと思えます。何気なく歌っている歌も、意味を考えて、気持ちを乗せて歌うと、自然と声や表情が変わってくるのではないのでしょうか。

三年生のみなさんは、学校へ登校し、友人と過ごす日々も残りわずかとなりました。卒業式をどんな想いで迎えるのか、そしてどんな卒業式にしたいのかを、もう一度考えてほしいと思います。高校生活で成長したみなさんの姿を、保護者の方々はもちろん、在校生・教員も楽しみにしています。また、在校生のみなさんは、卒業生を送る立場から、何ができるか、どんな姿勢で臨むべきかを考えてみましょう。「蛍の光」の二番の歌詞にあるように、「互(かたみ)に思ふ」＝「互いに思い合う」、そんな卒業式を楽しみにしています。

(文責 沢田)

「恩返し」と「恩送り」

いよいよ3年生の皆さんも卒業ですね。誰か、感謝を伝えたい人はいるでしょうか？私は正直なところ、高校生の時は誰かに感謝するという感覚はあまりなかったのですが、その後大学に進み、さらに教員になる中で、周囲に恵まれ、数多くの方々にお世話になってきました。未熟でどうしようもなかった私に、粘り強く指導してくださった方々がいたおかげで、今の自分があり、私は今でも教員を続けていられるのだと思っています。

さて、そんな方々に恩返しをしたいと思うのですが、あまりにもすごい方々なので、受けた恩が大きすぎて、とても全て返すことができません。そんな時に聞いたのが、「恩送り」という考え方でした。「恩送り」とは、「誰かから恩を受けたら、それを相手に返すのではなく、別の人に渡すこと」を言うそうです。確かに、恩を受けた相手に直接「恩返し」をすることは、そう簡単にはできません。しかし、自分が受けた恩を他の人に「送る」ようにしていけば、やがてその恩が世の中を回っていくというのです。たとえば、自分が先輩に親切にしてもらったら、その恩を「後輩に親切にする」という形で「送っ」ていけば、それは結果的に、「恩返し」よりも多くの人を幸せにすることだと思います。

「恩返し」にこだわらず、「恩送り」を。卒業後も、皆さんが後輩たちに、そして大間高校に良い「恩」を「送っ」てくれることを期待しています。(中野渡)

★3月の予定★

- | | |
|--------|------------------------------|
| 1日(日) | 卒業式 |
| 5日(木) | 10分短縮 |
| 9日(月) | ①②授業
午後会場設営
(生徒は午前で下校) |
| 10日(火) | 入学者選抜(生徒休み) |
| 11日(水) | 採点(生徒休み) |
| 16日(月) | 合格発表・10分短縮 |
| 17日(火) | 地域の進学力
支援セミナー |
| 18日(水) | 水④⑤⑥①②③ |
| 19日(木) | 再募集 |
| 23日(月) | 再募集合格発表 |
| 25日(水) | 合格者説明会 |
| 26日(木) | 大清掃・表彰式・
修了式・離任式 |
| 27日(金) | 年度末・年度始休業
(～4月6日) |

